

第6次 鹿角市総合計画 後期基本計画

平成28年度—平成32年度

まち・ひと・しごと創生 鹿角市総合戦略

平成27年度—平成31年度



鹿角市



～笑顔あふれる元気な「かづの」を目指して～

人口ビジョン(～H72)

1. 人口動向分析

(1) 総人口の推移

- 人口は、昭和30年をピークに減少を続け、近年は毎年1.5%ずつ減少しています。
- 生産年齢人口は、昭和60年に3万人を、平成22年には2万人を割るなど減少傾向が続いています。

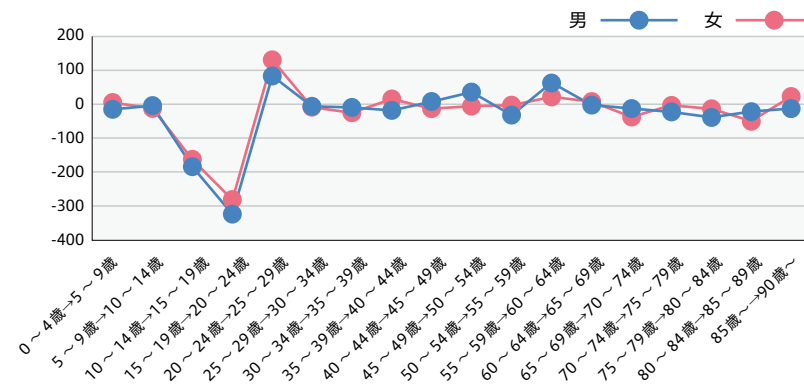
(2) 自然増減と社会増減の推移

- 自然増減は、昭和63年に自然減に転じてからは減少の一途で、近年は人口減少の主要因になっています。一方、婚姻率を上げることで出生数を高められる可能性があります。
- 社会増減は、平成8年に転入と転出が肉薄したものの一度もプラスに転ずることなく推移していますが、平成20年以降は転入・転出ともに縮小傾向にあります。

(3) 年齢階級別の人口移動の状況

- 15～19歳及び20～24歳で大幅な転出超過の一方、25～29歳は転入超過で、高等学校卒業後の進学や就職に伴う転出と、大学卒業後のリターン就職等に伴う転入と考えられます。
- 55～59歳から60～65歳も転入超過で、退職に伴い、本市に居住地を移すケースもあると考えられます。

	男	女
0～4歳→5～9歳	-15	5
5～9歳→10～14歳	-4	-12
10～14歳→15～19歳	-185	-164
15～19歳→20～24歳	-325	-282
20～24歳→25～29歳	84	131
25～29歳→30～34歳	-6	-9
30～34歳→35～39歳	-10	-25
35～39歳→40～44歳	-18	15
40～44歳→45～49歳	8	-13
45～49歳→50～54歳	36	-6
50～54歳→55～59歳	-32	-3
55～59歳→60～64歳	64	22
60～64歳→65～69歳	-2	8
65～69歳→70～74歳	-12	-37
70～74歳→75～79歳	-22	-3
75～79歳→80～84歳	-39	-14
80～84歳→85～89歳	-21	-49
85歳→90歳	-12	23



2. 将来人口推計と分析

(1) 国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計

- 本市の人口は平成57(2045)年には2万人を割り込み、平成72(2060)年には14,437人になると推計され、国より早いペースで人口減少が進むとされています。
- 年令3区分別人口割合の推移をみると、平成72年の年少人口は10%を下回り、生産年齢人口は49.3%、老年人口は41%となり、少子高齢化がさらに進行すると試算されています。

※国立社会保障・人口問題研究所…以下「社人研」と省略

(2) 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響

- 市が行った分析によると、本市の人口に対しては社会減の解消が人口減少及び少子高齢化の抑制に効果的と考えられます。
- 将来人口の試算では、人口移動が均衡した場合に人口減少のスピードが一番遅く、最も早く人口構造が若返ることが分かっています。

(3) 人口減少による地域経済への影響

- 人口減少の影響は労働供給量の不足を招きます。社人研推計をもとにすると、平成72年の従業者数は1万人以上減少し8,000人を割り込み、その結果、生産額が減少し、地域経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

3. 人口の将来展望

(1) 将来展望の仮定

▶合計特殊出生率の向上

- 本市と国の合計特殊出生率の差を考慮し、平成32(2020)年に1.8、平成47(2035)年に人口置換水準2.07を達成し、以降2.07を維持

▶雇用の場の確保等による若年層及び子育て世代の転入促進

- 平成27(2015)年からの20～24歳→25～29歳の純移動率を社人研推計の2倍、30～34歳→35～39歳の純移動率を0.02、25～29歳→30～34歳はこの2つの年齢階級の純移動率の中間値

(2) 目指すべき将来人口

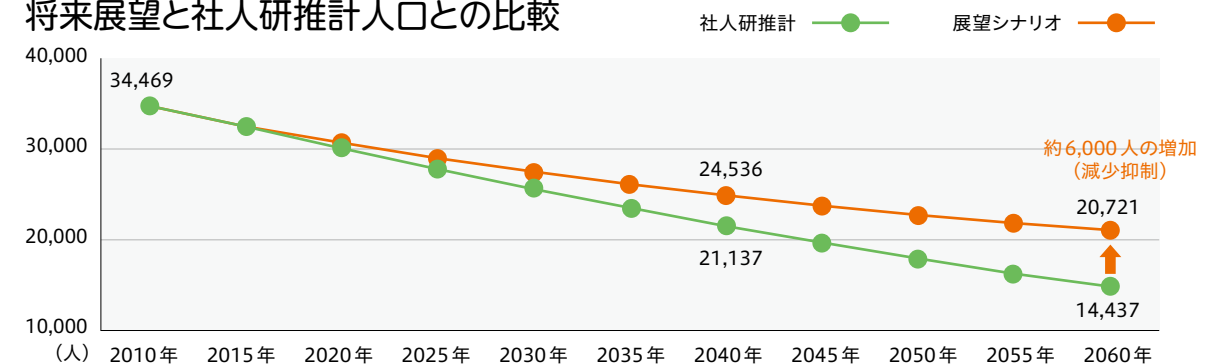
平成72(2060)年
2万人台
の確保

社人研推計に比べ
約6,000人の増加

人口構造も若返る

年少人口 15.3%
生産年齢人口 54.0%
老年人口 30.7%

将来展望と社人研推計人口との比較



※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値で、「1人の女性が生涯に産む子どもの数」を推定する指標
※純移動率：男女・年齢別(5歳階級別)に算出した、5年間の純移動数(転入超過数)の割合

総合計画後期基本計画と総合戦略との関係

総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、「鹿角市人口ビジョン」を踏まえ、本市のまち・ひと・しごと創生に向けた基本目標や施策の基本的な方向、具体的な施策をまとめたもので、市の最上位の計画である総合計画の重点プロジェクトの中の取り組みで構成されています。

総合戦略





重点プロジェクト1

産業力強化プロジェクト

(域外市場産業の活性化、マネーの循環、産業人材の確保)

本市の魅力を生かした商品やサービスを生み出し、外に移出することで「外貨」を呼び込み、その資金を域内循環させることで、地域の所得向上と雇用の創出(拡大)を図り、産業力の強化を目指します。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値
人口1人当たり市内総生産	3,010千円(H24)	3,300千円(H30)
雇用創出数(H28~32)	—	320人(H32)

①域外市場産業の活性化

(ア)競争力の高い産業の育成

- ▶農業生産物の高付加価値化(経営サポーター・サポートチームによる支援、ブランド確立(淡雪こまち、そば、北限の桃、かづの牛)、新ブランド育成、こだわり作物栽培推進)
- ▶地元企業の高度化支援(企業立地助成金、小規模事業者支援、地域資源を活用した新商品の開発、販路拡大支援)
- ▶観光産業の振興(外国人観光客等の誘客推進、コンベンション開催助成、観光ファン有料会員への特典付与、きりたんぼ発祥の地PRイベント強化、湯の駅整備、八幡平の魅力発信、観光プラットフォームの体制強化)

(イ)新産業の創出

- ▶企業誘致促進、再生可能エネルギー分野への参入促進、若者・女性などの起業・創業支援、インキュベーション機能を持つ貸しオフィス整備

施策の成果指標	基準値	目標値(H32)
観光客数	177万人(H27)	195万人
宿泊客数	23万人(H27)	25万人



②地域資源の循環

(ア)地域内連携の活性化

- ▶異業種連携の推進(6次産業化支援、(仮称)鹿角マルシェの推進)
- ▶地産地消の推進(かづの産食ショップ認証、未利用森林資源の活用、電力の地産地消体制の構築)

(イ)地域商業の活性化

- ▶商品開発支援、店舗の改修・改装や新規開業支援、起業・創業支援

施策の成果指標	基準値	目標値(H32)
新電力設立数	—	1社
ハミングカード・コナンカードポイント付与数	1,468.8万ポイント	1,500万ポイント

③産業人材の確保

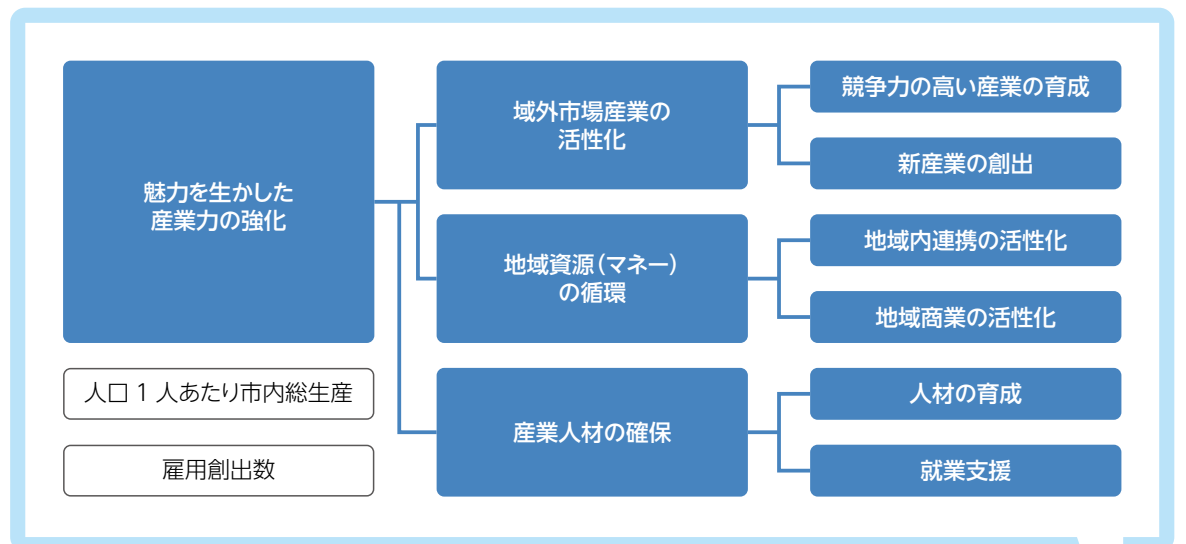
(ア)人材の育成

- ▶企業の農業参入支援、事業承継支援、研修助成

(イ)就業支援

- ▶新規就農支援、Aターン就職の促進、資格取得支援、待遇改善助成

施策の成果指標	基準値	目標値(H32)
Aターン就業者数	—	120人



基本目標1 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略
笑顔あふれる雇用をつくる

■数値目標 基準値 — 目標値(H31)
雇用創出数 累計290人増



重点プロジェクト2

移住・交流推進プロジェクト

(移住の促進、地域間交流の推進)

移住しやすい環境を整備し、移住に結び付く情報発信やイベントを通じてUIターンを促進するとともに、移住予備群となりうる交流人口の拡大を目指します。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
転入者数	648人 (直近5年の平均)	710人

①移住の促進

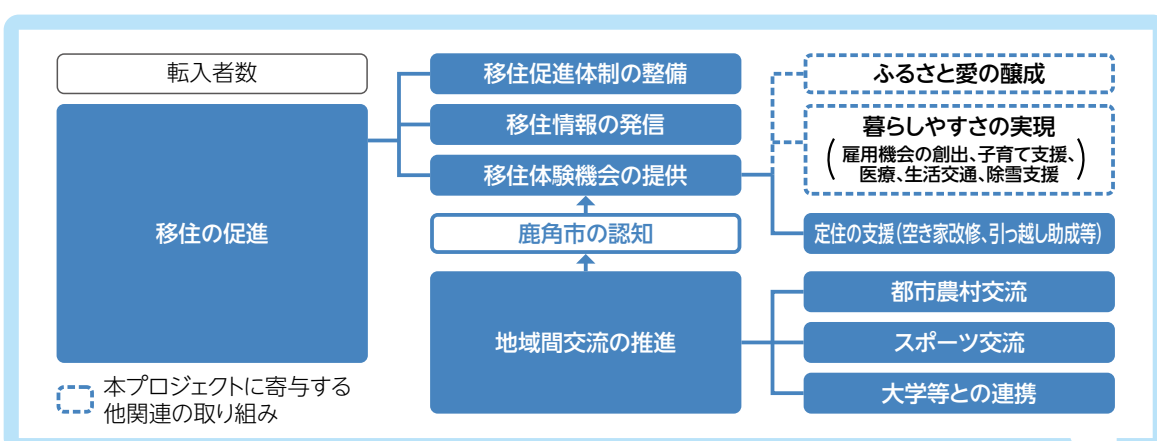
▶ 移住促進体制の整備、移住フェア等による情報発信、お試し移住ツアー、空き家活用支援、移住の際の経済的支援

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
移住窓口への相談件数	—	400件
移住・定住サポーター登録者数	—	110人

②地域間交流の推進

▶ 都市農村交流の推進、スポーツ交流の推進、県外大学等が行う市内での調査研究活動支援

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
宿泊を伴った農作業等体験者数	—	125人
スポーツ合宿奨励補助金利用人数	3,231人泊 (H26)	3,600人泊
県外大学等調査研究活動奨励補助金利用者数	—	500人泊



基本目標2 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略
笑顔あふれる人の流れをつくる



重点プロジェクト3

角ぐむ「鹿角」ブランド確立プロジェクト

(ブランドコンセプトの確立、地域資源の信頼向上、魅力の発信)

鹿角ならではの独自の価値やほこりを具現化する「ブランドコンセプト」を確立し、地域資源の磨き上げによる魅力や価値の信頼を高めながら、効果的なPRによって認知度を高めることにより、「鹿角ブランド」を確立し、訪れたい・住んでみたいと思う地域の実現を目指します。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
鹿角市の全国的な魅力度順位	510位 (H27)	300位
鹿角市の全国的な認知度順位	661位 (H27)	500位

①ブランドコンセプトの確立

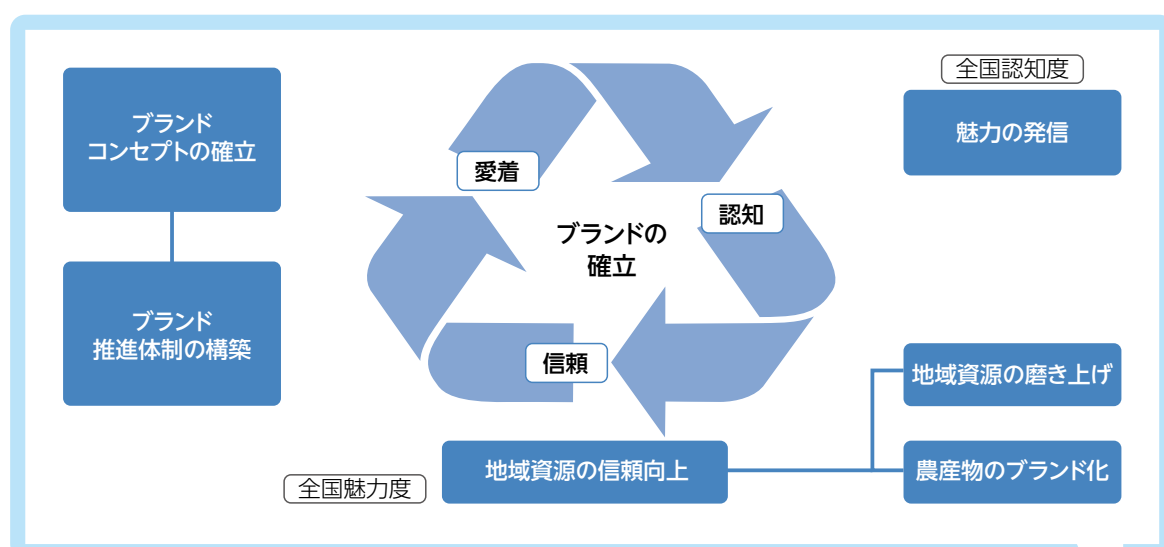
▶ ブランド形成に向けた地域ぐるみの取り組みを行うブランド推進組織の運営

②地域資源の信頼向上

▶ 農産物のブランド向上、訴求力のある観光プログラムの創出

③魅力の発信

▶ 移住フェアやスポーツ大会等でのイメージ発信、市のブランド力を高める市民活動やPR事業の認定



■数値目標 基準値 648人 (直近5年平均) 目標値 (H31)

転入者数 (年間)

700人



重点プロジェクト4

子どもの笑顔きらめきプロジェクト

(結婚、出産、子育てしやすい環境づくり)

結婚を望む独身男女への出会いの場の提供と結婚に向けた支援の充実を図り、安心して出産できる環境づくりを進め、保育環境の充実により待機児童ゼロを維持するとともに、出産・子育てに要する経済的な負担を軽減するなど、若い世代が結婚・出産・子育てしやすいまちをつくります。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
合計特殊出生率	1.58 (H24)	1.8
出生数 (H28~H32)	—	1,000人
子育てしやすいまちと感じる市民の割合	46.2% (H26)	57%

①結婚しやすい環境づくり

▶あきた結婚支援センター入会登録料無料化、出会いの場の提供、結婚・子育て支援特別資金の創設と返済助成

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
出会いイベント提供数	—	40件

②安心して出産できる環境づくり

▶産科医確保対策、妊婦健康診査助成、不妊・不育症治療助成、結婚・子育て支援特別資金の創設と返済助成、第1子の誕生に対する祝い金の支給



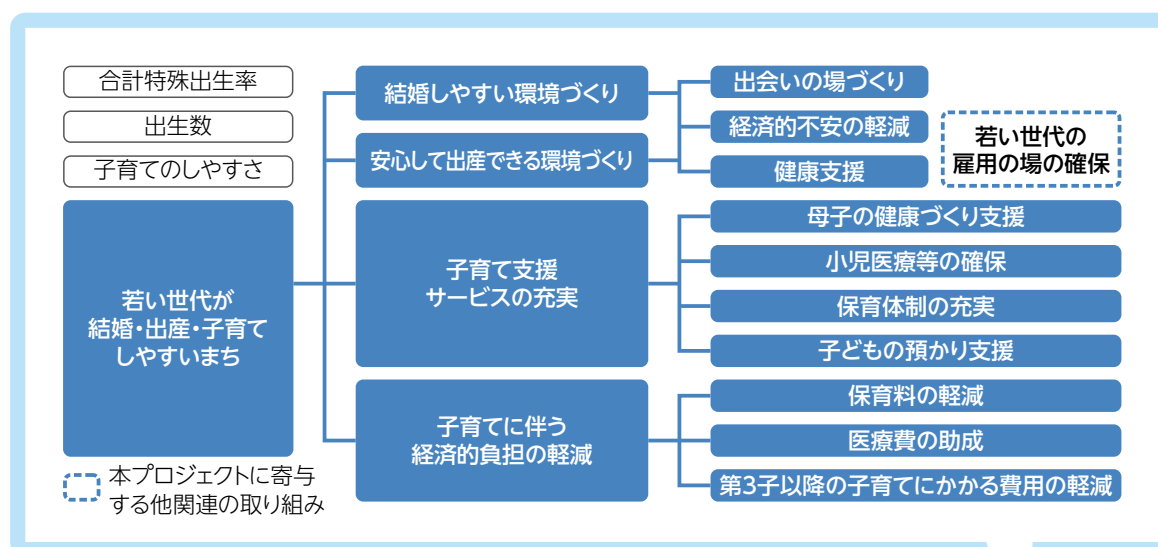
③子育て支援サービスの充実

- ▶母子の健康づくり支援（むし歯予防大作戦、母子保健指導）
- ▶子どもの預かり支援（放課後児童クラブの開所時間を19時まで延長・受入児童拡大、移動支援、ファミリー・サポート・センターの運営）
- ▶保育体制の充実（途中入園対策、病児・病後児保育）

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
放課後児童クラブの待機児童数	1人 (H26)	0人

④子育てに伴う経済的負担の軽減

- ▶保育料の独自軽減を継続
- ▶福祉医療給付の対象を18才まで拡充
- ▶第3子以降の子育て費用の無料化等（保育料、放課後児童クラブ利用料、ファミサポ利用料、教育費用）



基本目標3 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略
笑顔あふれる若い世代の希望をかなえる

■数値目標 基準値 1.58 (H24) 目標値 (H31)

合計特殊出生率

1.8



重点プロジェクト5

みらい輝く人づくりプロジェクト

(次代を担う子どもたち、質の高い職業人、志の高い社会人の育成)

ふるさとへの愛着と夢や目標を持った子どもたちを育てるとともに、市の産業競争力の向上に資する「人財」、地域社会を支える「人財」を育成し、地域社会や産業の担い手が活躍する持続的なまちを目指します。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
社会参画意識を持つ割合(中学3年)	44.7% (平成27年度)	50.0%
資格取得者数(H28～H32)	—	150人
人材育成塾延べ塾生数(H28～H32)	—	60人

①次代を担う子どもたちの育成

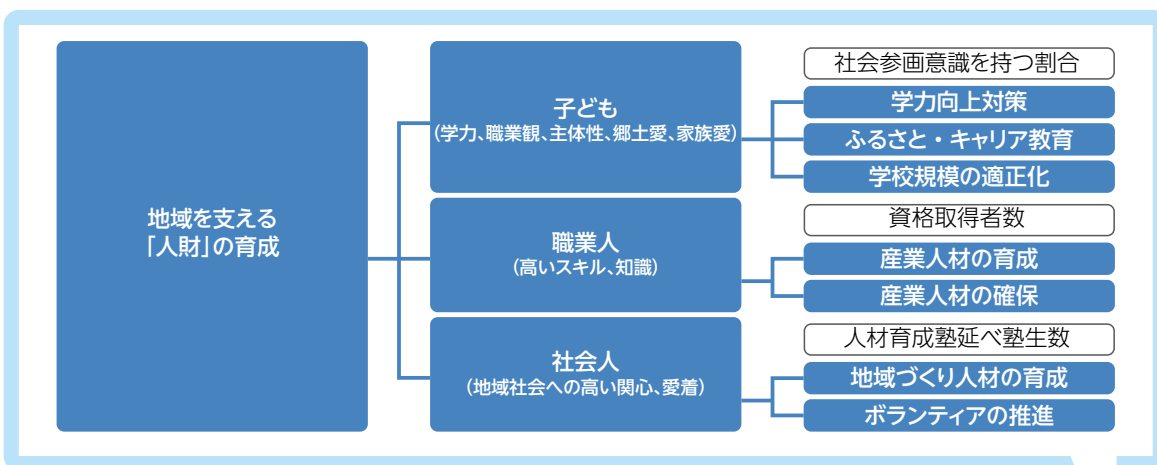
- ▶ 学力向上対策 (児童生徒学力向上対策、外国語活動充実、情報教育環境整備)
- ▶ ふるさと・キャリア教育 (ふるさと・キャリア教育推進、かづの夢創造school、他)
- ▶ 学校規模の適正化 (通学対策、花輪第一中学校大規模改造、花輪第二中学校大規模改造、学校給食施設等整備)

②質の高い職業人の育成

- ▶ 産業人材の育成 (農業構造改革推進、新規就農者育成支援、産業人材育成支援、資格取得支援)
- ▶ 産業人材の確保 (Aターン就職促進、介護人材確保推進、医師確保対策)

③志の高い社会人の育成

- ▶ 地域づくり人材の育成 (人材育成塾の設置、鹿角元気力アップ事業補助金、自治会コミュニティ活性化支援)
- ▶ ボランティアの推進 (地域福祉活動支援、生活支援体制整備)



基本目標 1 笑顔あふれる雇用をつくる

基本目標 4 笑顔あふれる地域をつくる



重点プロジェクト6

まちなか賑わい創出プロジェクト

(中心市街地の魅力、快適性・利便性、交通アクセスの向上)

市の中心としての魅力や快適性・利便性、交通アクセスを向上させることにより、中心市街地の賑わいを創出し、本市における拠点性の維持を目指します。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
中心市街地の環境に満足している市民の割合	53.5% (直近3年平均)	59.5%

①中心市街地の魅力の向上

- ▶ 商業機能等集積、イベント支援、コモッセと商店街との連携、まち歩き観光推進

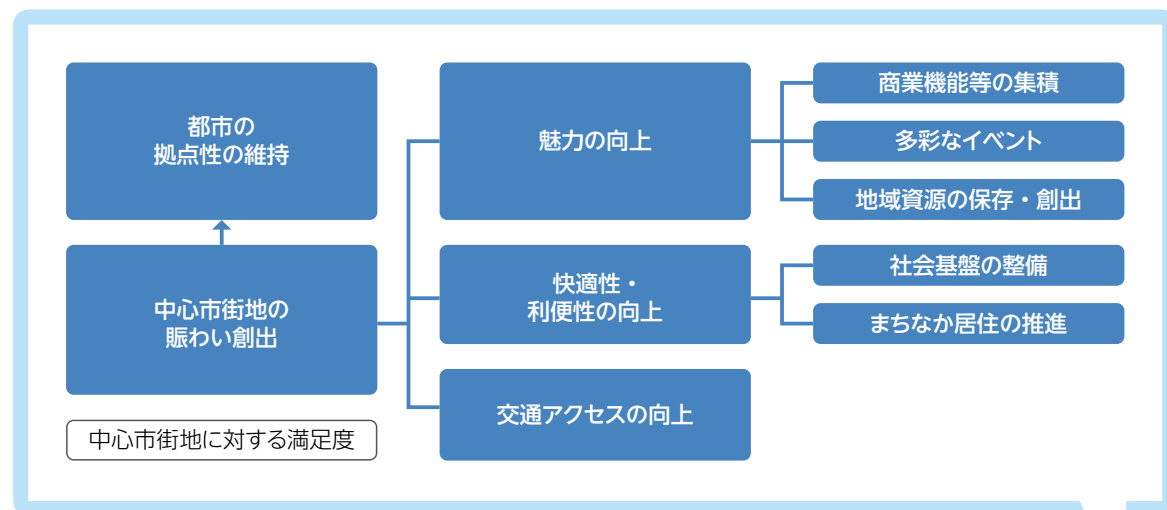
②中心市街地の快適性や利便性の向上

- ▶ 駅前広場・道路等の整備、まちなか居住推進

③中心市街地の交通アクセスの向上

- ▶ たんぽこまち号運行、バス路線維持確保、地域乗合交通支援

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
中心市街地歩行者数(1日平均)	4,307人 (H26)	4,780人
数年間公共交通機関を利用したことがない人の割合	58.8% (H26)	50%



基本目標 4 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略
笑顔あふれる地域をつくる 次へ



重点プロジェクト7

地域コミュニティ活力再生プロジェクト

(地域人材の確保、コミュニティ支援体制の強化)

人材不足を補うため、コミュニティ活動に積極的に取り組む人材の確保と育成を進めるとともに、地域住民が主体性を持ち地域コミュニティの課題解決に向けた活動に取り組めるよう支援体制をさらに強化することで、人口減少が進行しつつも持続性ある地域コミュニティの形成を目指します。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
社会活動や地域活動に年1回以上参加した市民の割合 (ボランティア活動・自治会活動など)	70.5% (H26)	75.0%

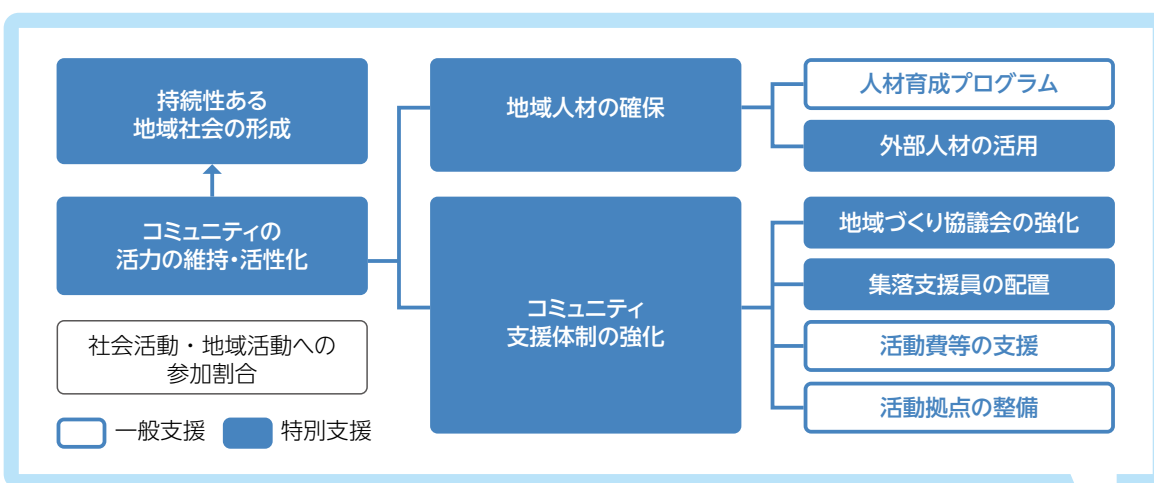
①地域人材の確保

▶人材育成プログラム、外部人材の活用(地域おこし協力隊等)

②コミュニティ支援体制の強化

▶地域づくり協議会の強化、集落支援員の配置、活動費支援、活動拠点の整備

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
外部人材活用自治会数	—	16自治会
地域づくり協議会事業に参加した人数	37,664人 (H26)	40,000人



基本目標4 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略
笑顔あふれる地域をつくる



重点プロジェクト8

健康生き生き長寿社会プロジェクト

(豊かなシニアライフ、高齢者の安心を支える福祉サービス)

団塊の世代が高齢期を迎え、高齢者数が増加している中、介護が必要な高齢者や生活上の支援が必要な一人暮らし高齢者世帯も増加しており、高齢者への福祉サービスの充実が求められます。

また、要介護状態にならず、生き生きとした老後を送るためには、健康な身体と生きがい、仲間とのつながりが大切であり、高齢者自らが健康や介護予防について考え、取り組む必要があります。

プロジェクトの成果指標	基準値	目標値 (H32)
健康寿命(男性)	75.58年 (H22)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
健康寿命(女性)	81.32年 (H22)	

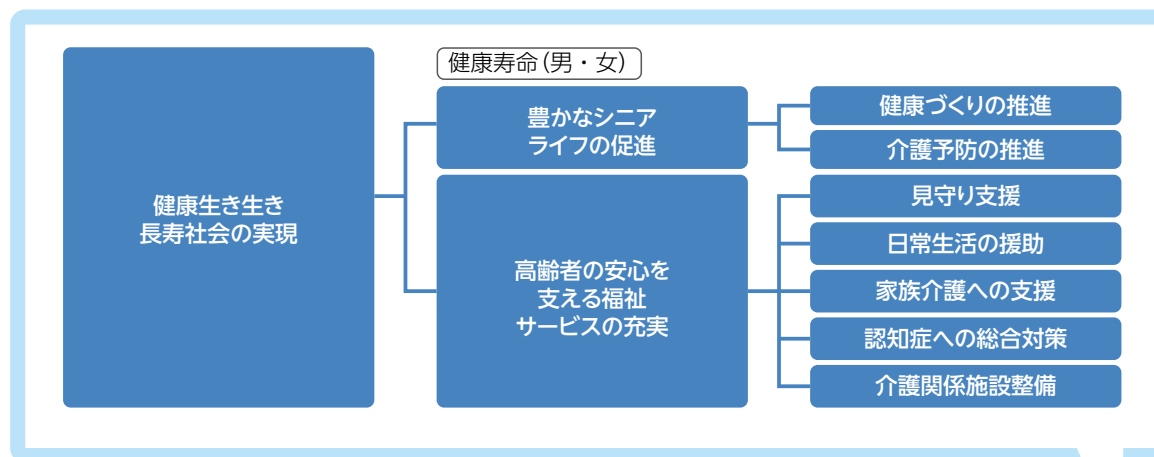
①豊かなシニアライフの促進

▶脳血管疾患対策、生涯スポーツ推進、地域生き生きサロン

②高齢者の安心を支える福祉サービスの充実

▶高齢者の見守りネットワーク、除雪等の生活支援サービス、介護ボランティアの育成、家族介護者等支援、認知症総合対策、介護関係施設等整備

施策の成果指標	基準値	目標値 (H32)
要介護・要支援認定率	17.9% (H27)	17.9%
認知症サポーター1人に対する高齢者数	5人 (H27)	3人



■数値目標 基準値 54.7% (H26) 目標値 (H31)

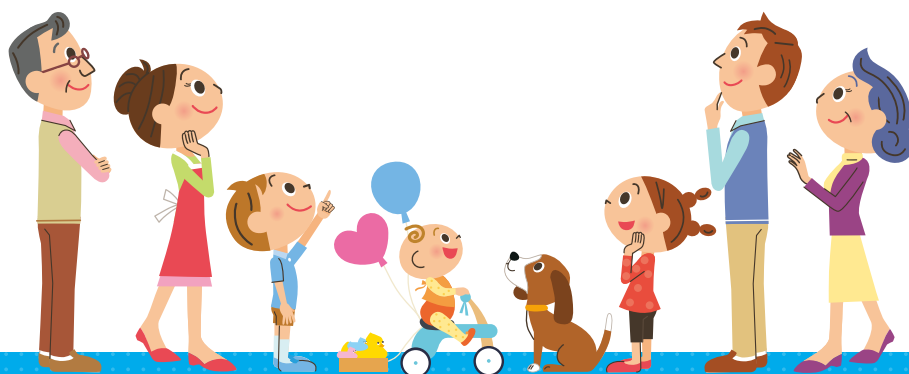
住みごこちの満足度 60.0%

第6次 鹿角市総合計画 後期基本計画

—— 平成28年度—平成32年度 ——

まち・ひと・しごと創生 鹿角市総合戦略

—— 平成27年度—平成31年度 ——



発行・お問い合わせ先

鹿角市総務部政策企画課

〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1
TEL 0186-30-0201 FAX 0186-30-1122
E-mail kikaku@city.kazuno.lg.jp
URL <http://www.city.kazuno.akita.jp/>